

北五番丁高等小学校

校歌

土井 晚翠
幾屋 純 作詞

4 【仙台市立 第二中学校】

一、青葉廣瀬の山と水

そびゆるはしる郷の北

北の高等小學の

教の庭に通ふ子よ

三、右と左のいさゝかの

隔末はいや遠し

登らば雲の上までも

降らば土の底までも

二、小さき種のそだつ時
空つく高き木は繁る

くだるしづくのやまぬ時
くるき岩も穿たれん

四、再び寄せぬわかき日を
さらば空しく去らしめす

堅き巖も穿たれん

心を磨き身を鍛へ

後の榮の基おかん

仙台市立第二中学校は、昭和25年に開校、昨年度は70周年の記念式典を行いました。

学都仙台の中心部に位置しており、学区内には、美術館をはじめ、多くの文化公共施設があります。春の「青葉まつり」、冬の「光のページェント」など、仙台の代表的なイベントにも参加する機会があり、身近に感じています。

また、西に自然豊かな青葉山、その山里を流れる清流豊かな広瀬川など、自然にも恵まれております。

北五番丁高等小学校は、大正4年4月、現在の第二中学校の場所に開校いたしました。校歌はもちろん土井晚翠先生の作詞によるものです。本日は、吹奏楽部1・2年生と生徒会執行部の合同チームによる校歌披露とさせていただきます。どうぞ、お聴きください。